

昨年、日本共産党市議団が行った市民アンケートでは、老後に不安を抱く声がたくさん寄せられました。党市議団は、誰もが安心して老後を過ごせる横浜市にするために、全力でがんばります。



▲「ころばん体操・セラバンド教室」(戸塚区)のみなさん

安心して老後をすごせる横浜に

気軽にお出かけ

●敬老パスを継続

市内のバスと地下鉄に一定料金で乗れる敬老パスで、外出を支援します。

●地域にバスを走らせます

山坂の多い横浜。地域にミニバスを走らせて、交通不便地域をなくします。

●身近な生活道路や歩道を整備

高速道路ではなくて、身近な道路の整備を優先します。



安心できる介護・医療

●特別養護老人ホームを増設

特養ホームの入所待ちは約5000人。せめて申し込みから半年以内に入所できるように整備スピードを早めます。

●介護保険料・利用料の減免制度を充実

利用者の負担を軽くして、介護保険を利用しやすくします。

●家族任せにしない支援・施設

介護が必要になった時に、医療との連携強化など、みんなで支え合えるような仕組みを整えます。

自民・公明が介護保険を改悪!

軽度の介護度の人を特養ホームから追い出し、要支援の人を介護サービスからはずす改悪に日本共産党は反対です。



財源の確保は

新市庁舎や高速道路の建設など不要不急の大型開発の浪費をやめれば、今後毎年発行される1500億円規模の市債を、市民の暮らし向上や防災にふりむけることができます。

大企業むけの支援策やカジノ誘致にあてる税と職員体制を見直して、市民向けサービスを担う費用と人を確保します。1兆4000億円を超す一般会計を総点検し、ムダと浪費を削減します。

さらに市内経済活性化や生産年齢(16~64歳)人口の増加策などによって個人市民税など市税収入をふやす政策を実施できれば、これらの政策にかかる財源は十分に確保できます。



▲「ころばん体操・セラバンド教室」(戸塚区)のみなさん



▲よこはま健康友の会/新鶴見支部 囲碁・将棋サークルのみなさん

無料法律相談

市政、法律、交通事故、年金、金融、土地、住宅、教育、その他

と き：毎週水曜日午後1時30分~3時
と ころ：横浜市役所内 日本共産党議員控室

TEL 045 (671) 3032

◎相談は同一案件につき3回までです。

要予約